



自動車リサイクル促進センター 東京都発行のソーシャルボンドに投資 ～ 持続可能な社会の実現に貢献 ～

公益財団法人自動車リサイクル促進センター(所在地:東京都港区、代表理事:中村崇)は、本日、東京都が発行するソーシャルボンドに投資を行いました。

この度、東京都が国内の地方自治体として初めてソーシャルボンドを発行します。本債券は国際資本市場協会(ICMA)が定めるソーシャルボンドの要件に従った債券として、第三者機関によるセカンドオピニオンを取得しています。本債券で調達された資金は、特別支援学校の整備、チャレンジスクールの整備といった教育事業、また、雇用・就業促進施設等の整備、東京都中小企業制度融資に関する資金の預託といった雇用の維持・創出のための事業に充当されます。

現在、ESG投資は、パリ協定やSDGs(持続可能な開発目標)の採択など、国際社会が持続可能な社会の実現に向けた取組みを進めていくとした潮流や、環境省による「グリーンボンドガイドライン」の策定を背景として、国内外で拡大しています。

本財団はこれまでも、日本国内における循環型社会の実現に関する各種事業を行い、使用済み自動車の適正処理のために自動車ユーザーからお預かりした9,353億円(2021年3月末時点)のリサイクル料金の管理・運用を通して、環境や地域・社会と共生し、SDGsに関する持続可能な社会へと安定的な成長を共有していく観点から、環境課題や社会課題の解決に資するESG投資を方針^{*1}に基づき行っており、毎年その規模を拡大しています。そして、公益法人におけるESG投資のトップランナーとして、日本のESG債市場の発展に寄与すべく、発行体とのエンゲージメント(建設的な対話)^{*2}についても積極的に取り組んでいるところです。

本財団は、ESG投資が日本国内における資源の有効な利用の向上及び環境の保全に取り組んでいただくきっかけの一つになればと考えており、今後も持続可能な社会の実現に向けて社会的責任を果たしていきます。

*1 JARCのESG投資の方針 <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/esg/>

*2 発行体とのエンゲージメント <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/engagement/>

【本債券の概要】

債券名	東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))第1回
年限	5年
発行日	2021年7月6日
発行総額	300億円
東京都 ウェブサイト	https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/

【公益財団法人自動車リサイクル促進センター(JARC)の概要】

所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階	
設立	2000年(平成12年)11月22日	
理事長	なかむら たかし 中村 崇	
事業内容	自動車のリサイクル及び適正処理の促進に関する各種取組	
自動車リサイクル法 指定法人業務の主務官庁	経済産業省、環境省	
JARC ウェブサイト	https://www.jarc.or.jp/	

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
 広報・理解活動推進部
 電話 : 03-5733-7144